

漢字音読名人

《 6 年 》

國	語	算	數	理	科	社	會
圖	工	音	學	體	育	給	食

2 学期

名前	
----	--

光村配列

「漢字音読名人」の進め方

表のページは練習に使います。裏のページは、友達との聞き合いに使います。
一漢字ずつ、読めるようにしていきます。

①まず、表のページで読む練習をします。

- ・何度も声に出して読み、――を引いた漢字のふりがなを見ないで読めるようになるまで練習します。
- ・線の引いていない漢字は上の学年で習う漢字ですから、ふりがなを見ながら読んでもいいです。

★意味の分からない言葉があったら、必ず先生に聞きましょう。

②線を引いた漢字が、ふりがなを見なくても読めるようになったら裏のページでチャレンジします。

- ・友達に聞いてもらい、正しく読めていたら、サインをしてもらい、次の漢字に進みます。
- ・先生が決めたゴールの漢字まで進んだら、元にもどって、二回目にチャレンジ。
- ・三回目もゴールまで進み、サインが三つそろったら、「音読名人」です。次のゴールをめざしてがんばりましょう。

樹

樹齡 三千年
じゅうれいさんぜんねん

縄文杉の大樹
じようもんすぎ たいじゅ



オオカキキキキキ樹

□ 校庭の樹木が青々と繁っている。
こうてい じゅもく あおあお しげ



□ この果樹園の梨は特別うまい。
かじゅえん なし とくべつ



□ 陸上競技で日本新記録樹立。
りくじやうきやうぎ にほんしんきろくじゅりつ



覧

展覧会・観覧車
てんらんかい かんらんしゃ

「覧」は「見回す・眺める」こと
らん みまわ なが



厂厂臣臣監覧

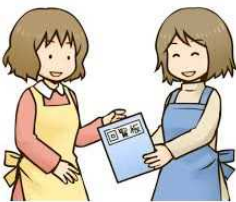
□ 展覧会の絵を見に行く。
てんらんかい え み いく



□ 持ち物を一覧表で確かめる。
もちもの いちらんひょう たし



□ お知らせを回覧板で回す。
おしらせ かいらんばん まわ



値

価値ある作品と
かち あり さくひん

評価され
ひやうか

一億円の値がついた
いちおくえん ね



イイナ値値

□ 値段が高くてとても買えない。
ねだん たか



□ 物価の値上げで家計は苦しい。
ぶつか ねあ



□ 具体的な数値を示して説明。
ぐたいてき すうち しめ



樹

樹^{れい}齡^い三千年

繩^す文^ぎ杉の大樹



サイン

□校庭の樹木が青々と繁^{しげ}っている。



□この果樹園の梨は特別うまい。



□陸上競技で日本新記録樹立。



覧

展覧会・観覧車

「覧」は「見回す・眺^{なが}める」こと



サイン

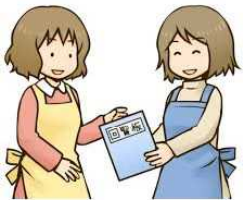
□展覧会の絵を見に行く。



□持ち物を一覧表で確かめる。



□お知らせを回覧板で回す。



値

価値ある作品と

評価され

一億円の値がついた



サイン

□値段が高くてとても買えない。



□物価の値上げで家計は苦しい。



□具体的な数値を示して説明。



源

水の流れ出る
源を源流という



□ 人類の起源はアフリカにある。



□ 電源を入れて機械を動かす。



□ 資源に乏しい日本。



退

天皇の位を
退くことが「退位」



□ 相手の要求を退ける。



□ 卒業生が退場する。



□ 祖母の病状は一進一退だ。



厳

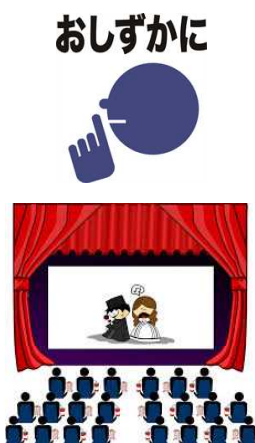
厳重に
厳しく見張る警備員



□ 厳しい自然環境で生きる生物。



□ 映画上映中の私語は厳禁。



□ 集合時間を厳守すること。



源

水の流れ出る

源を源流という



サイン

□ 人類の起源はアフリカにある。



□ 電源を入れて機械を動かす。



□ 資源に乏しい日本。
とぼ



退

天皇の位を

退くことが「退位」



サイン

□ 相手の要求を退ける。



□ 卒業生が退場する。



□ 祖母の病状は一進一退だ。



厳

厳重に

厳しく見張る警備員



サイン

□ 厳しい自然環境で生きる生物。
かん



□ 映画上映中の私語は厳禁。

おしずかに



□ 集合時間を厳守すること。



91

イイ価値価値優優

優

優しくて

技能も優れた優秀な人



□ 厳しさの中に優しさがある父。



□ 電車の優先座席に座る老人。



□ 悲願の初優勝を達成。



92

オオオオオオオオオオ

推

計画を推し進める

推進役になる



□ 太郎君を代表委員に推す。



□ 縄文人は推定で二十六万人。



□ 謎解きを楽しむ推理小説。



93

一口中虫貴貴

貴

貴重・貴金属

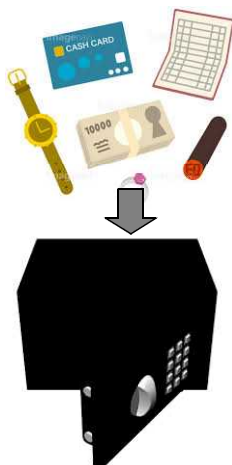
「貴」は「貴い」という意味



□ 貴い命を大切にしよう。



□ 貴重品は金庫にしまっておく。



□ 平安貴族の優雅な暮らし。



91

サイン

優

優しくて

技能も優れた優秀しゅうな人□ 厳いしさの中に優よしさがある父。

□ 電車の優先座席に座る老人。



□ 悲願の初優勝を達成。



92

サイン

推

計画を推し進める

推進役になる

□ 太郎君ろうを代表委員に推す。

□ 縄文人は推定で二十六万人。

□ 謎解なぞきを楽しみお推理小説。

93

サイン

貴

貴重・貴金属

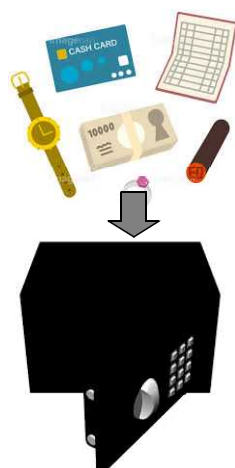
「貴」は「貴い」という意味



□ 貴い命を大切にしよう。



□ 貴重品は金庫にしまっておく。

□ 平安貴族の優雅がな暮らし。

策

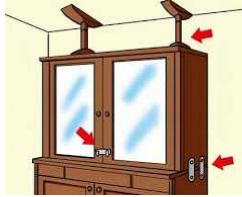
戦略さくりやくを用もちいて
戦いくさに勝かつ



環境問題かんきょうもんだいの解決策かいけつさくを考かんがえる。



家具かぐなどの転倒防てんとうぼうし止たいさくの対策。

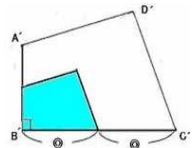


紅葉こうようした木々きぎの間あいだを散策さんさくする。



縮

元の形もとのかたち縮ちぢめて
描かいた図ずが「縮図しゆくず」



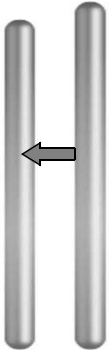
洗あらって縮ちぢんだ毛系けいとのセーター。



経営難けいえいなんで店みせを縮小しゆくしやうする。



冷ひえると金属きんぞくは収縮しゆうしゆくする。



棒

棒ぼう使つかい
バーを跳とび越こす棒高跳ぼうたかとび



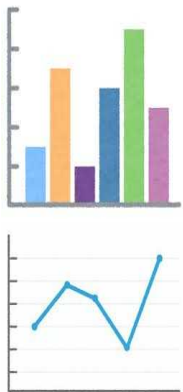
鉄棒てつぼうの逆上さかあがりができた。



彼かれが一いっしよ緒おになら鬼かなぼうに金棒かなぼうだ。



棒ぼうグラフと折れ線おせんグラフ。



策

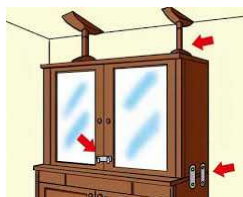
策略を用いて
戦に勝つ



□環境問題の解決策を考える。



□家具などの転倒防止の対策。

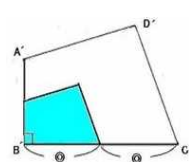


□紅葉した木々の間を散策する。



縮

元の形縮めて
描いた図が「縮図」



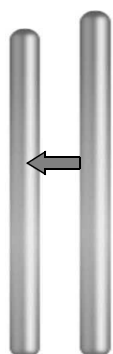
□洗って縮んだ毛系のセーター。



□経営難で店を縮小する。



□冷えると金属は収縮する。



棒

棒使い
バーを跳び越す棒高跳び



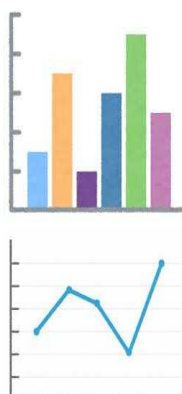
□鉄棒の逆上がりができた。



□彼が一緒に鬼に金棒だ。



□棒グラフと折れ線グラフ。



熟

柿^{かき}の実^みが熟^うれて
真^まっ赤^かに熟^{じゅく}したよ



職^{しよく}人^{にん}の熟^{じゅく}練^{れん}の技^{わざ}に感^{かん}動^{どう}する。



朝^{ちよう}食^{しよく}に半^{はん}熟^{じゅく}卵^{たまご}を食^たべる。



漢^{かん}字^じ二^に字^じの熟^{じゅく}語^ご。

熟練**感動****尺**

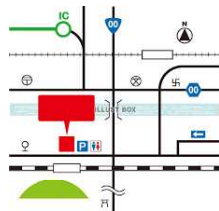
尺^{しゃく}・寸^{すん}は
昔^{むかし}の長^{なが}さの単^{たん}位^いです



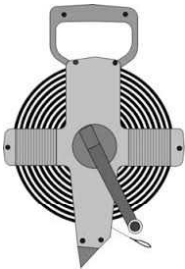
一^{いつ}尺^{しゃく}は約^{やく}三^{さん}十^{じゅう}セ^{せん}ン^ちです。



千^{せん}分^{ぶん}の一^{いち}の縮^{しゅく}尺^{しゃく}地^ち図^ず。



巻^まき尺^{しゃく}で五^ご十^{じゅう}メ^ーー^{トル}を測^{はか}る。

**寸**

寸^{すん}は「ほんの少^{すこ}しの」
という意^い味^みもある



寸^{すん}法^{ぽう}を測^{はか}つたら同^{おな}じ長^{なが}さだっ



地^じ震^{しん}で道^{どう}路^ろが寸^{すん}断^{だん}され



ゴ^ごール寸^{すん}前^{ぜん}で転^{ころ}び、二^に位^いにな



97

サイン

熟

柿^{かき}の実が熟れて

真っ赤に熟したよ



□ 職人の熟練の技に感動する。



□ 朝食に半熟卵を食べる。



□ 漢字二字の熟語。

熟練

感動

98

サイン

尺

尺・寸は

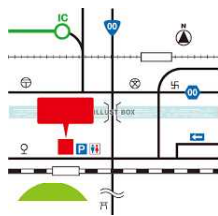
昔の長さの単位です



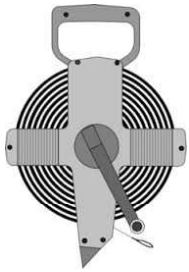
□ 一尺は約三十センチです。



□ 千分の一の縮尺地図。



□ 巻き尺で五十メートルを測る。



99

サイン

寸

一寸は約三センチ

寸は「ほんの少しの」

という意味もある



□ 寸法を測ったら同じ長さだった。



□ 地震で道路が寸断された。



□ ゴール寸前で転び、二位になる。



揮

先生の指揮に合せて
合唱する



□オーケストラの指揮者。



□実力を発揮して合格した。



□ガソリンは揮発性の油です。



痛

足を痛め、
動くと激痛が走る



□練習し過ぎて膝を痛める。



□腹痛で学校を欠席した。



□自分の力の無さを痛感する。



批

作品のできればを
批評する審査員



□批判するより助言しよう。



□温かい批評の言葉をもらった。



□平和条約を批准する。



100

揮

先生の指揮に合わせて
合唱する



サイン

□オーケストラの指揮者。



□実力を発揮して合格した。



□ガソリンは揮発性の油です。



101

痛

足を痛め、
動くと激痛が走る



サイン

□練習し過ぎて膝を痛める。



□腹痛で学校を欠席した。



□自分の力の無さを痛感する。



102

批

作品のできればえを
批評する審査員



サイン

□批判するより助言しよう。



□温かい批評の言葉をもたらった。



□平和条約を批准する。



イイイ傷傷傷傷傷

傷

傷口が浅く
軽傷で済んだ



□冷たい言葉に心が傷つく。



□ざっくり割れた傷口の手当て。



□事故で多数の
負傷者が出た。



一サササササ

若

年が若く
世間を知らない若輩者



□若葉の美しい季節になった。



□夢と希望に満ちた若者達。



□老若男女が集まり盆踊り。



一戸戸戸戸戸

閉

閉園の時刻が来たので
門を閉じる



□戸が閉まっていて留守らしい。



□今日は図書館が閉館している。



□ドアの開閉は静かに行うこと。



傷

傷口が浅く

軽傷で済んだ



□冷たい言葉に心が傷つく。



□ざっくり割れた傷口の手当て。



□事故で多数の

負傷者が出た。



若

年が若く

世間を知らない若輩者^{はい}



□若葉の美しい季節になった。



□夢と希望に満ちた若者達。



□老若男女が集まり盆踊り。^{ばんおど}



閉

閉園の時刻が来たので

門を閉じる



□戸が閉まっていて留守らしい。



□今日は図書館が閉館している。



□ドアの開閉は静かに行うこと。



一口中虫青貴遺遺

遺

貝塚から

縄文時代の

遺物が見つかる



視力がいいのは父の遺伝だ。



祖父の遺品を大切に残す。



世界遺産に登録された富士山。



1羽羽羽羽羽

翌

翌日・翌週

「翌」は「次の」という意味だ



運動会の翌日は体が重い。



夜更かしすると翌朝がつらい。



僕が生まれた翌年妹が誕生。



糸糸糸糸糸

縦

縦と横

縦横に走る都会の道路



国語は基本的に縦書き。



台風が日本列島を縦断する。



飛行機の操縦をする。



遺

貝塚から

縄文時代の

遺物が見つかる



□視力がいいのは父の遺伝だ。



□祖父の遺品を大切に残す。



□世界遺産に登録された富士山。



翌

翌日・翌週

「翌」は「次の」という意味だ



□運動会の翌日は体が重い。



□夜更かしすると翌朝がつらい。



□僕が生まれた翌年妹が誕生。



縦

縦と横

縦横に走る都会の道路



□国語は基本的に縦書き。



□台風が日本列島を縦断する。



□飛行機の操縦をする。



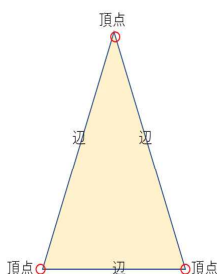
頂

山の頂を
やま いただき

「山頂」という
さんちよう



三角形の頂点と辺。
さんかくけい ちようてん へん



エベレストの登頂に成功。
えべれすと どうちよう せいこう



白い雪を頂く山々が連なる。
しろ ゆき いただき やまやま つらなる



忠

駅前
えきまえ

主人を待ち続けた忠犬ハチ公
しゆじん ま つつ ちゆうけん こう



親の言いつけを忠実に守る。
おや いちゆうじつ まも



失敗しないよう忠告しておく。
しっぱい ちゆうこく



主君に忠誠を誓う忠臣。
しゆくん ちゆうせい ちか ちゆうしん



誠

誠の心を込め
まこと こころ こめ

誠意を持って取り組む。
せいい も と



誠にありがとうございます。
まこと ありがとうございます



誠実な人柄の友達。
せいじつ ひどがら ともだち



誠心誠意、全力を尽くす。
せいしんせい い ぜんりよく つくす



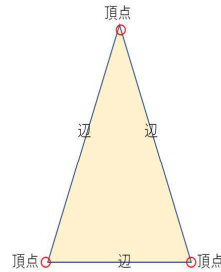
頂

山の頂を

「山頂」という



□ 三角形の頂点と辺。



□ エベレストの登頂に成功。



□ 白い雪を頂く山々が連なる。



忠

駅前で

主人を待ち続けた忠犬ハチ公



□ 親の言いつけを忠実に守る。



□ 失敗しないよう忠告しておく。



□ 主君に忠誠を誓う忠臣。



誠

誠の心を込め

誠意を持って取り組む。



□ 誠にありがとうございます。



□ 誠実な人柄の友達。



□ 誠心誠意、全力を尽くす。



敵

あいて 相手は強敵
きょうてき
ゆだん 油断はするな



てき 敵と味方に分かれて戦う。
みかた わ たたか



とり 鳥は昆虫の天敵だ。
こんちゅう てんてき

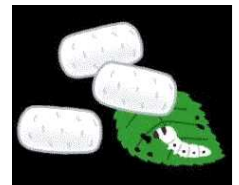


れんせんれんしょう 連戦連勝、無敵の横綱。
むてき よこづな



蚕

かいこ 蚕から生糸を取る
きいと と
ようさんぎよう 養蚕業



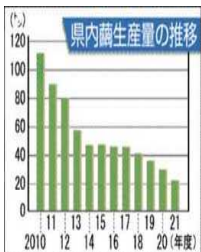
むかし 昔は、蚕を飼っていた。
かいこ か



かいこ 蚕は桑の葉を食べて成長する。
くわ は た せいちよう



あた この辺りは養蚕が盛んだった。
ようさん しか



己

こっき 「克己」とは
おれ 己(自分)に打ち克つこと
じぶん じぶん うちか



たが お互いに自己紹介する。
じこしやうかい



それは自己満足に過ぎない。
じこまんぞく す



りこてき 利己的な人が多くなった。
ひと おお



敵

相手は強敵

油断はするな



サイン

敵と味方に分かれて戦う。



鳥は昆虫の天敵だ。



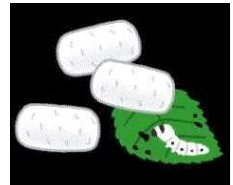
連戦連勝、無敵の横綱。



蚕

蚕から生糸を取る

養蚕業



サイン

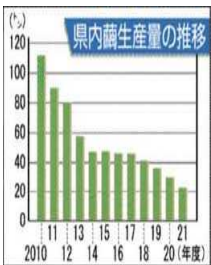
昔は、蚕を飼っていた。



蚕は桑の葉を食べて成長する。



この辺りは養蚕が盛んだった。



己

「克己」とは

己(自分)に打ち克つこと



サイン

お互いに自己紹介する。



それは自己満足に過ぎない。



利己的な人が多くなった。



除

除雪・除草

「除」は取り除くという意味だ



□ 二人を除き誰も知らない秘密。



□ 大量の土砂を除去する。



□ 不良品を除外する。



仁

「医は仁術」

思いやりの心を「仁」という



□ 仁義を重んじた戦国武将。



□ 世界遺産登録の仁徳天皇陵。



□ お寺の山門に立つ仁王様。



泉

水の湧き出るところが泉
その水が熱いと温泉

□ 泉のほとりにある水車小屋。



□ 書物は知識の源泉だ。



□ 温泉に入って休養する。



115

除

除雪・除草

「除」は取り除くという意味だ



□二人を除き誰も知らない秘密。



□大量の土砂を除去する。



□不良品を除外する。



116

仁

「医は仁術」

思いやりの心を「仁」という



□仁義を重んじた戦国武将。



□世界遺産登録の仁徳天皇陵。



□お寺の山門に立つ仁王様。



117

泉

水の湧き出るところが泉

その水が熱いと温泉



□泉のほとりにある水車小屋。

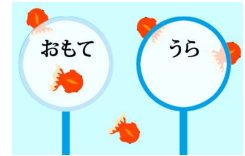


□書物は知識の源泉だ。



□温泉に入って休養する。

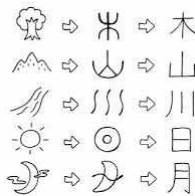


裏おもて
表と裏うらがわ
裏側を裏面という
☐ 家の裏口から入る。

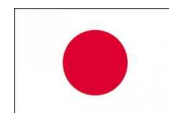
裏口にお回り下さい


☐ 予想を裏切る試合結果。

☐ 亡き祖母の顔が脳裏に浮かぶ。
**系**ちきゅう
地球はたいようけい
太陽系に属している
☐ 二千万億個の星を有する銀河系。

☐ 成り立ちを系統立てて説明。

☐ 温暖化による生態系への影響。
**盟**にちえいどうめい
日英同盟を結び

ロシアと戦った日本


☐ 日本とアメリカが同盟を結ぶ。

☐ 固い約束を交わし合った盟友。

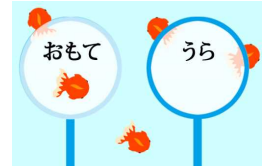
☐ 日本は国際連合の加盟国だ。


118

裏

表と裏

裏側を裏面という



□家の裏口から入る。

裏口にお回り下さい



□予想を裏切る試合結果。



□亡き祖母の顔が脳裏に浮かぶ。

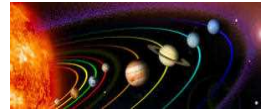


119

系

地球は

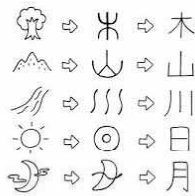
太陽系に属している



□二千億個の星を有する銀河系。



□成り立ちを系統立てて説明。



□温暖化による生態系への影響。

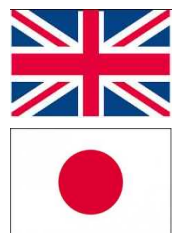


120

盟

日英同盟を結び

ロシアと戦った日本



□日本とアメリカが同盟を結ぶ。



□固い約束を交わし合った盟友。



□日本は国際連合の加盟国だ。



121

ハム谷 欲 欲 欲

欲

欲張^{よくば}って何^{なん}でも欲^ほしが^{いもうと}る妹□ もう少^{すこ}し考^{かんが}える時^じ間^{かん}が欲^ほしい。□ 意^い欲^{よく}的^{てき}に練^{れん}習^{しゅう}し、体^{からだ}を鍛^{きた}える。□ うま^{よつき}くいか^{ゆうふ}ず欲^{まん}求^{まん}不^{まん}満^{まん}になる。

122

一 木 和 松 枅 株 株

株

木^きの切^きり株^{かぶ}に小^こ鳥^{とり}が止^とまる□ 花^{はな}の苗^{なえ}を二^{ふた}株^{かぶ}も^らった。□ 会^{かい}社^{しゃ}が株^{かぶ}券^{けん}を発^{はっ}行^{こう}する。□ 父^{ちち}は株^{かぶ}式^{しき}会^{かい}社^{しゃ}に勤^{つと}め^てい^る。

123

ハ 羊 羊 羊 羊

善

善^よいこ^すとは進^{すす}んでや^{ぜん}らう「善^{いそ}は急^{いそ}げ」□ 善^{ぜん}悪^{あく}の判^{はん}断^{だん}はしっ^{はん}かり^{だん}つけ^{はん}よう。□ 先^{さき}を急^{いそ}が^{いそ}ず段^{だん}階^{かい}的^{てき}に改^{かい}善^{ぜん}する。□ 心^{こころ}や行^{おこな}いの正^{ただ}しい善^{ぜん}良^{りよう}な^{ひと}人。

121

欲

欲張って

何でも欲しがる妹



サイン

□ もう少し考える時間が欲しい。



□ 意欲的に練習し、体を鍛える。



□ うまくいかず欲求不満になる。



122

株

木の切り株に

小鳥が止まる



サイン

□ 花の苗を二株もらった。



□ 会社が株券を発行する。



□ 父は株式会社に勤めている。



123

善

善いことは

進んでやろう「善は急げ」



サイン

□ 善悪の判断はしっかりつけよう。



□ 先を急がず段階的に改善する。



□ 心や行いの正しい善良な人。



班

登校班の班長に
選ばれた



二班の班員は全部で五名だ。



同じ班の仲間で行動する。



被災地で救護班が編成された。

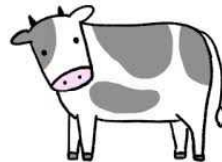


危

危ないぞ
そこは危険だ 近づくな



牛は人に危害を加えない。



危機一髪で助かった。



君子危うきに近寄らず。

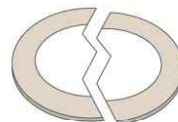


割

割安の商品を
分割払いで買った



皿が二つに割れた。



仕事の役割分担を決める。



時間を割いて本を読む。



124

班

登校班の班長に

選ばれた



サイン

□二班の班員は全部で五名だ。



□同じ班の仲間で行動する。

□被災^ひ地で救護班が編成された。

125

危

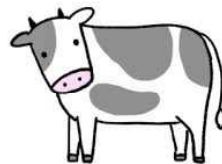
危ないぞ

そこは危険だ 近づくな



サイン

□牛は人に危害を加えない。

□危機一髪^{ぱつ}で助かった。

□君子危うきに近寄らず。



126

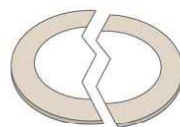
割

割安の商品を

分割^{ばら}払いで買った

サイン

□お皿が二つに割れた。



□仕事の役割分担を決める。



□時間を割いて本を読む。



否

「君が悪い！」と聞くや否や
「違う！」と僕は否定した



□ 学級会で議案が否決された。



□ 提案に否定的な意見を言う。



□ 行方不明者の安否を確認する。



至

「至って難しいことを
「至難の技」という



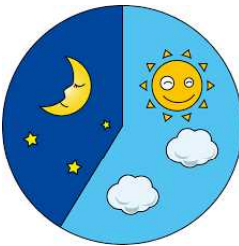
□ 至れり尽くせりの便利な生活。



□ 至急、係までご連絡ください。



□ 夏至は一年中で一番昼が長い。



宅

「宅」は「住まい」という意味だ
住宅・宅地・宅配便



□ 帰宅した時、宅配便が届いた。



□ 自宅に友達を招いてお誕生会。



□ 新興住宅が建ち並ぶ町。



127

サイン

否

「君が悪い！」と聞くや否や
「違う！」と僕は否定した



□学級会で議案が否決された。



☒ NO

□提案に否定的な意見を言う。



□行方不明者の安否を確認する。



128

サイン

至

至って難しいことを
「至難の技」という



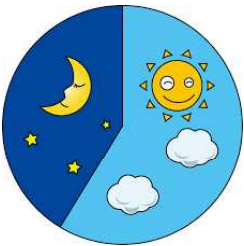
□至れり尽くせりの便利な生活。



□至急、係までご連絡ください。



□夏至は一年中で一番昼が長い。



129

サイン

宅

住宅・宅地・宅配便



「宅」は「住まい」という意味だ



□帰宅した時、宅配便が届いた。



□自宅に友達を招いてお誕生会。



□新興住宅が建ち並ぶ町。

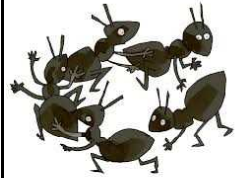


130

米 粃 粃 粃 粃 粃 粃 粃

糖

甘い砂糖に
群がるアリの群れ



□ 糖分の多い食べ物を避ける。



□ 料理の仕上げに砂糖を加える。



□ 果物にはぶどう糖が含まれる。



131

玄 系 系 紅 紅

紅

紅色に
もみじの葉っぱが紅葉



□ 口紅をつけてお化粧する。



□ 砂糖がたっぷり入った紅茶。



□ 紅白の起源は源平合戦。

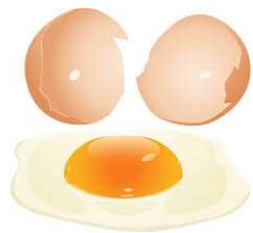


132

、レ、白、卵、卵、卵

卵

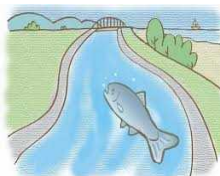
卵の中身は
卵黄と卵白



□ 食材は野菜も卵も地元産。



□ 産卵のために川を上るアユ。



□ 早口言葉「生麦生米生卵」

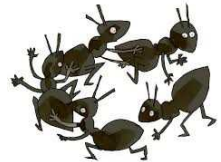


130

糖

あま
甘い砂糖に

群がるアリの群れ



サイン

□糖分の多い食べ物_を避_さける。□料理の仕_し上_じげに砂糖を加える。□果物にはぶどう糖_が含_{ふく}まれる。

131

紅

紅色に

もみじの葉っぱが紅葉



サイン

□口紅をつけてお化粧_{しやう}する。

□砂糖がたっぷり入った紅茶。



□紅白の起源は源平合戦。

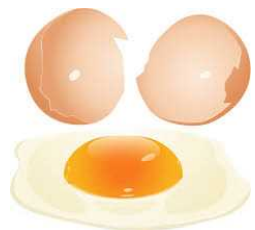


132

卵

卵の中身は

卵黄と卵白

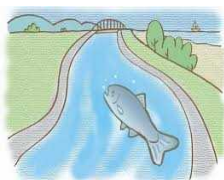


サイン

□食材は野菜も卵も地元産。



□産卵のために川を上るアユ。

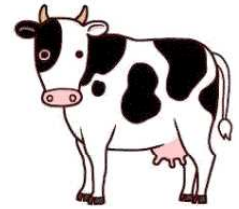


□早口言葉「生麦生米生卵」



乳

乳を搾るために
育てた乳牛



赤ちゃんに乳を飲ませる母親。



牛乳は体に良い。



乳製品のチーズは栄養豊富だ。



創

学校が創られた日
創立記念日



物語を創作する。



独創的な作品で入賞した。



明治時代創業の老舗旅館。



奏

楽器を奏で
交響曲を演奏する



和楽器の琴を奏でる。



ピアノの演奏が上達する。



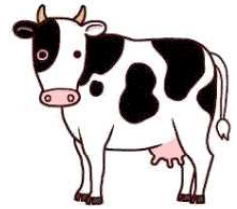
音楽会で器楽合奏を発表。



133

乳

乳を搾るために
育てた乳牛



サイン

赤ちゃんに乳を飲ませる母親。



牛乳は体に良い。



乳製品のチーズは栄養豊富だ。



134

創

学校が創られた日
創立記念日



サイン

物語を創作する。



独創的な作品で入賞した。



明治時代創業の老舗旅館。



135

奏

楽器を奏で
交響曲を演奏する



サイン

和楽器の琴を奏でる。



ピアノの演奏が上達する。



音楽会で器楽合奏を発表。



誕

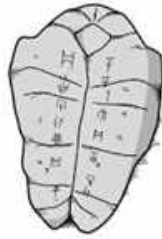
今日は私の誕生日
誕生ケーキうれしいな



誕生日の贈り物は何かな。



文字の誕生が歴史を変えた。



宮澤賢治の生誕地を訪ねる。



困

貧困で困っている
人々を助けたマザーテレサ



答えが分からず困った。



困難に負けず努力する。



困り事があれば相談してね。



看

病人の手当てや
世話をする看護師



祖母の最期を看取る。



熱を出した子を看病する母。



いろんな看板が並ぶ商店街。



136

誕

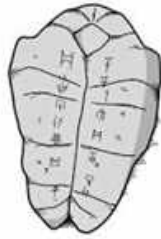
今日は私の誕生日

誕生日ケーキうれしいな



□誕生日の贈り物は何かな。

□文字の誕生日が歴史を変えた。



□宮澤賢治の生誕地を訪ねる。



137

困

貧困で困っている

人々を助けたマザーテレサ



□答えが分からず困った。

□困難に負けず努力する。

□困り事があれば相談してね。



138

看

病人の手当てや

世話をする看護師



□祖母の最期を看取る。

□熱を出した子を看病する母。

□いろんな看板が並ぶ商店街。



筋

背筋を伸ばし

筋骨たくましい若者



□ 筋書きどおりに事が運ぶ。

□ 筋トレで筋肉を鍛える。



□ 鉄筋コンクリートの建物。



盛

盛大に

パーティー開かれ盛り上がる

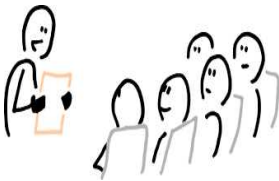


□ 筋肉が盛り上がった体操選手。

□ 桜は今は盛りです。



□ 今日の発表会は盛会だった。

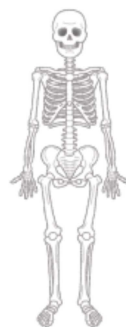


骨

体を支える

骨組みを

骨格という



□ 骨折り損のくたびれもうけ。

□ 交通事故で足を骨折した。



□ 鉄骨でできているガレージ。



139

筋

背筋を伸ばし

筋骨たくましい若者



サイン

□筋書きどおりに事が運ぶ。



□筋トレで筋肉を鍛える。



□鉄筋コンクリートの建物。



140

盛

盛大に

パーティー開かれ盛り上がる



サイン

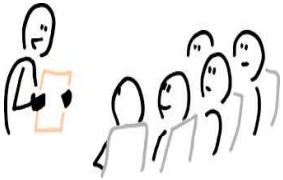
□筋肉が盛り上がった体操選手。



□桜は今が盛りです。



□今日の発表会は盛会だった。



141

骨

体を支える

骨組みを

骨格という



サイン

□骨折り損のくたびれもうけ。



□交通事故で足を骨折した。



□鉄骨でできているガレージ。



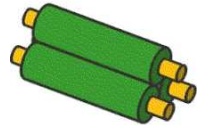
142

、 卷 卷 卷 卷 卷

卷

巻物は
まさもの

一巻 二巻と数えます
いっかん にかん かぞ



□ けがをして、包帯を巻いた。
けが ほうたい まいた



□ 渦巻く潮の流れを
うずまき しほのながれを

船から見る。
ふねからみる



□ 長編小説を全巻読み通した。
ちようへんしやうせつ ぜんかんよ とおした



143

、 宝 宝 宝 宝 宝

宝

金銀の財宝満載
きんぎん ざいほうまんざい

宝船
たからぶね



□ 学級で宝探しゲームをした。
がっきゆう たからさが



□ 青い宝石のような目をした魚。
あお ほうせき のようなめをした さかな



□ 多くの国宝がある法隆寺。
おほ いく ほう ほうりゆうじ



144

、 郷 郷 郷 郷 郷

郷

郷里・故郷
きやうり こきやう

「郷」は「ふるさと」
きやう ふるさと



□ 夏休み、母の実家に帰郷する。
なつやす はは じつか ききやう



□ 故郷を離れて暮らす。
こきやう はな くらす



□ 滋賀県の郷土料理の鮎寿司。
しがけん きやうどりやうり ふなずし

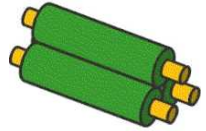


142

卷

巻物は

一巻二巻と数えます



サイン

□ けがをして、包帯を巻いた。



□ 渦巻く潮の流れを

船から見る。



□ 長編小説を全巻読み通した。



143

宝

金銀の財宝満載

宝船



サイン

□ 学級で宝探しゲームをした。



□ 青い宝石のような目をした魚。



□ 多くの国宝がある法隆寺。



144

郷

郷里・故郷

「郷」は「ふるさと」



サイン

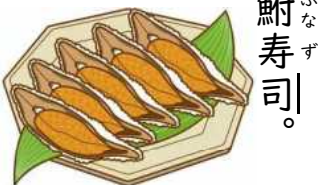
□ 夏休み、母の実家に帰郷する。



□ 故郷を離れて暮らす。



□ 滋賀県の郷土料理の鮎寿司。



145

敬

敬語で話す
目上の人を敬い



一ササササササササササ敬

□ 老人に敬意を表する敬老の日。



□ 努力する人を私は尊敬する。



□ 打者を敬遠して歩かせる作戦。



146

秘

秘かに伝えられた
神秘の伝説



、禾利秘秘秘

□ 強い決意を胸に秘め留学する。



□ この料理の味付けは店の秘伝。



□ アマゾンの秘境を探検する。



147

聖

オリンピックの
聖火リレー



一丁耳取取聖

□ 神社の境内は神聖な場所だ。



□ キリストの教えを書いた聖書。



□ 聖母マリアの像がある教会。



145

サイン

敬

目上の人を敬い

敬語で話す



□老人に敬意を表する敬老の日。



□努力する人を私は尊敬する。



□打者を敬遠して歩かせる作戦。



146

サイン

秘

秘かに伝えられた

神秘の伝説



□強い決意を胸に秘め留学する。



□この料理の味付けは店の秘伝。



□アマゾンの秘境を探検する。



147

サイン

聖

オリンピックの

聖火リレー



□神社の境内は神聖な場所だ。



□キリストの教えを書いた聖書。



□聖母マリアの像がある教会。



148

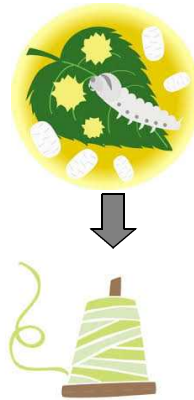
糸 紵 絹 絹

絹

絹糸きぬいとのような筋雲すじぐも
「絹雲けんうん」です



□ 蚕かいこのまゆから取とった絹糸きぬいと。



□ 博物館はくぶつかんで絹きぬの歴史れきしを学まなぶ。



□ 絹織物きぬおりもののことをシルクという。



149

オ ー 拝 拝

拝

礼拝堂れいはいどう
心静こころしずかに神かみを拝おがむ



□ 新年しんねんの初日はつひの出でを拝おがむ。



□ 正月しょうがつは神社じんじやに参拜さんぱいした。



□ この本ほんを拝借はいしゃくしたいのですが。

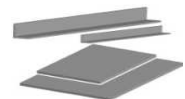


150

金 釘 鋼 鋼

鋼

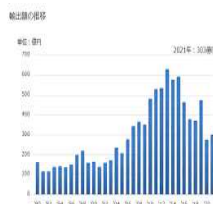
炭素たんそを混まぜて作つくった
鋼はがねの板いたが「鋼板こうはん」



□ 日本刀にほんとうは鋼はがねで作つくられている。



□ 日本にほんの鉄鋼てつこうの輸出量ゆしゅつりようの变化へんか。



□ 鋼鉄こうてつで作つくられた電車でんしゃの線路せんろ。



148

サイン

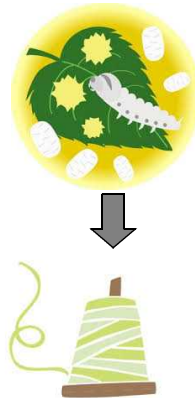
絹

絹系のような筋雲

「絹雲」です



□蚕のまゆから取った絹系。



□博物館で絹の歴史を学ぶ。



□絹織物のことをシルクという。



149

サイン

拝

礼拝堂

心静かに神を拝む



□新年の初日の出を拝む。



□正月は神社に参拝した。



□この本を拝借したいのですが。



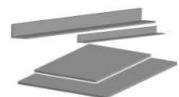
150

サイン

鋼

炭素を混ぜて作った

鋼の板が「鋼板」



□日本刀は鋼で作られている。



□日本の鉄鋼の輸出量の変化。



□鋼鉄で作られた電車の線路。



亡

秀吉が亡くなり
やがて豊臣家は滅亡



祖母が肺炎で亡くなった。



死亡事故の原因を究明する。



戦争で国家存亡の危機に直面。



干

干拓・潮干狩り
「干」は「干す・乾かす」こと



晴れた日に洗濯物を干す。



口うるさく干渉する母親。



干魃に苦しむアフリカの国々。



衆

大勢の観衆が
見守る中ゴールイン



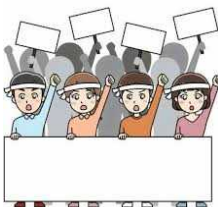
民衆の力で平和を守る。



国会の衆議院と参議院。



群衆が広場に押し寄せた。



151

サイン

亡

秀吉が亡くなり

やがて豊臣家は滅亡



祖母が肺炎で亡くなった。



死亡事故の原因を究明する。



戦争で国家存亡の危機に直面。



152

サイン

干

干拓・潮干狩り

「干」は「干す・乾かす」こと



晴れた日に洗濯物を干す。



口うるさく干渉する母親。



干魃に苦しむアフリカの国々。



153

サイン

衆

大勢の観衆が

見守る中ゴールイン



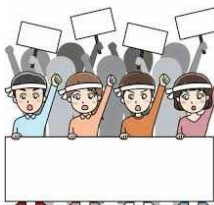
民衆の力で平和を守る。



国会の衆議院と参議院。



群衆が広場に押し寄せた。



154

郵便局

郵便

郵便局で



郵便切手を買いました

旅先から絵葉書を郵送する。



郵便配達の人がバイクで来た。



書留速達の郵便が届く。



155

賃貸

賃

電車の運賃

子どもは大人の

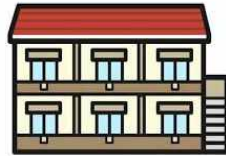
半額です



貸し自転車の借り賃を払う。



家賃を払う賃貸住宅。



仕事の賃金上がる。



156

孝

孝

親孝行

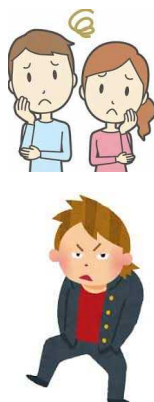
したい時には親は無し



肩をもらって親孝行をした。



悪いことばかりする親不孝者。



親に孝行する子を孝子という。



154

郵

郵便局で



郵便切手を買いました

サイン

☐ 旅先から絵葉書を郵送する。

☐ 郵便配達の人がバイクで来た。

☐ 書留速達の郵便が届く。


155

賃

電車の運賃

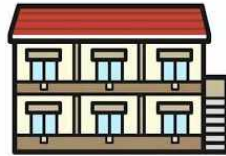
子どもは大人の

半額です



サイン

☐ 貸し自転車の借り賃を払う。

☐ 家賃を払う賃貸住宅。

☐ 仕事の賃金上がる。


156

孝

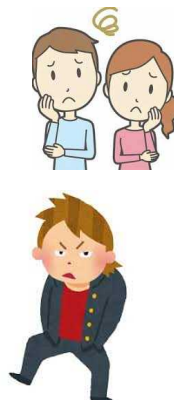
親孝行

したい時には親は無し



サイン

☐ 肩をもんで親孝行をした。

☐ 悪いことばかりする親不孝者。

☐ 親に孝行する子を孝子という。


157

マエ予予予預預

預

銀行に

お金を預けることを

「預金」という



□ お客様の荷物を預かる。



□ 荷物を預けて外出する。



□ 通帳の預金残高が残り少ない。



158

一土麦黍粟穀穀

穀

米・麦・大豆など

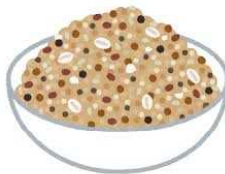
主食となる穀類



□ 穀物を収納庫に収める。



□ 米や麦以外の豆やソバは雑穀。



□ 東北・北陸は日本の穀倉地帯。



159

イ什俵俵俵俵

俵

「俵」とはわらで編んだ

米の袋 一俵 二俵と数える



□ 米六十キロを「一俵」という。



□ 米俵 一俵担げたら一人前。



□ 土俵で相撲を取る力士。



157

サイン

預

銀行に

お金を預けることを

「預金」という



□ お客様の荷物を預かる。



□ 荷物を預けて外出する。

□ 通帳の預金残高が残り少ない。



158

サイン

穀

米・麦・大豆など

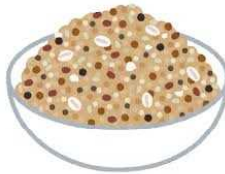
主食となる穀類



□ 穀物を収納庫に収める。



□ 米や麦以外の豆やソバは雑穀。



□ 東北・北陸は日本の穀倉地帯。



159

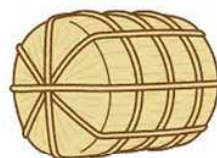
サイン

俵

「俵」とはわらで編んだ

米の袋いぐさ 一俵 二俵と数える

□ 米 六十キロを「一俵」という。



□ 米俵 一俵担げたら一人前。

□ 土俵で相撲を取る力士。
すもう

訳

通訳つうやくをしてもらったら
訳わけが分かった



先生せんせいに遅刻ちこくした訳わけをいう。

言い訳いわけなんか聞ききたくない。



英語えいごを日本語にほんごに訳やくす。



忘

忘却ぼうきやくとは
忘れ去わすることだ



電気でんきの消けし忘わすれに注ちゅう意い。



約束やくそくは忘わすれないように。



お父さんとうさんは忘年会ぼうねんかいに行いった。



暖

暖冬だんどうで暖あたたかく
雪ゆきも少すくない今年ことしの冬ふゆ



暖炉だんろのそばで体からだを暖あたためる。



暖あたたかな感かんじがする赤あかは暖色だんしよく。



春先はるさきは寒暖かんだんの差さが激はげしい。



160

訳

通訳をしてもらったら

訳が分かった



サイン

□先生に遅刻した訳を言う。



□言い訳なんか聞きたくない。



□英語を日本語に訳す。



161

忘

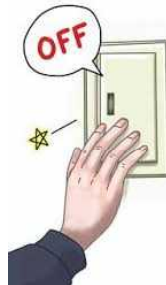
忘却とは

忘れ去ることだ



サイン

□電気の消し忘れに注意。



□約束は忘れないように。



□お父さんは忘年会に行った。



162

暖

暖冬で暖かく

雪も少ない今年の冬



サイン

□暖炉のそばで体を暖める。



□暖かな感じがする赤は暖色。



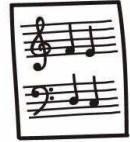
□春先は寒暖の差が激しい。



詞

歌詞・作詞

「詞」は「言葉」という意味だ



□ 動詞や形容詞などの品詞。

□ 作詞作曲をする音楽家。



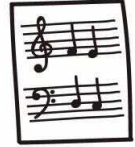
□ 歌の歌詞を紙に書いて覚える。



詞

歌詞・作詞

「詞」は「言葉」という意味だ



□動詞や形容詞などの品詞。

□作詞作曲をする音楽家。



□歌の歌詞を紙に書いて覚える。



2学期の漢字

たしかめ 18

89	88	87	86	85
退	源	値	覧	樹
天皇の位を退くことが「退位」。	水の流れ出る源を「源流」という。	一億円の値がつく価値のある作品。	展覧会の絵を見に行く。	この果樹園の梨は特別うまい。

たしかめ 19

94	93	92	91	90
策	貴	推	優	厳
環境問題の解決策を考える。	貴重品は金庫にしまう。	計画を推し進める推進役になる。	優しくて、技能も優れた優秀な人。	厳重に厳しく見張る警備員。

たしかめ 20

99	98	97	96	95
寸	尺	熟	棒	縮
寸法を測ったら同じ長さだった。	巻き尺で五十メートルを測る。	柿の実が熟れて真っ赤に熟した。	鉄棒の逆上がりができた。	元の形を縮めて描いた図が「縮図」。

たしかめ 21

104	103	102	101	100
若	傷	批	痛	揮
夢と希望に満ちた若者達。	傷口が浅く、軽傷で済んだ。	温かい批評の言葉をもらった。	足を痛め、動くと激痛が走る。	先生の指揮に合わせて合唱する。

たしかめ

18

89	88	87	86	85
てん皇 <small>のう</small> のくらしいをしりぞくことが「たいい」。	みずのながれでるみなもとを「げんりゅう」という。	いちおくえんのねがつくかちのあるさくひん。	てんらんかいのえをみにいく。	このかじゅえんのなしはとくべつうまい。

たしかめ

19

94	93	92	91	90
環 <small>かん</small> きようもんだいのかいけつさくをかんがえる。	きちようひんはきんこにしまう。	けいかくをおしすすめるすいしんやくになる。	やさしくて、ぎのうもすぐれたゆう秀 <small>うしゅう</small> なひと。	げんじゅうにきびしくみはるけいびいん。

たしかめ

20

99	98	97	96	95
すんぽうをはかったらおなじながさだった。	巻 <small>ま</small> きじやくでごじゅうメートルをはかる。	柿 <small>かき</small> のみがうれてまっかにじゅくした。	てつぼうのさかあがりができた。	もとのかたちをちぢめて描 <small>か</small> いたずが「しゅくず」。

たしかめ

21

104	103	102	101	100
ゆめときぼうにみちたわかものたち。	きずぐちがあさく、けいしょうで済 <small>す</small> んだ。	あたたかいひひょうのことばをもらった。	あしをいため、うごくとげきつうがはしる。	せんせいのしきにあわせてがっしょうする。

たしかめ

22

109	108	107	106	105
頂	縦	翌	遺	閉
山の頂を「山頂」という。	縦と横、縦横に走る都会の道路。	運動会の翌日は体が重い。	世界遺産に登録された富士山。	閉園の時刻が来たので門を閉じる。

たしかめ

23

114	113	112	111	110
己	蚕	敵	誠	忠
それは自己満足に過ぎない。	蚕から生糸を取る養蚕業。	敵と味方に分かれて戦う。	誠の心を込め、誠意を持って取り組む。	親の言いつけを忠実に守る。

たしかめ

24

119	118	117	116	115
系	裏	泉	仁	除
成り立ちを系統立てて説明。	表と裏、裏側を「裏面」という。	水の湧き出る泉。その水が熱いと温泉。	仁義を重んじた戦国武将。	除雪・除草、除は「取り除く」という意味。

たしかめ

25

124	123	122	121	120
班	善	株	欲	盟
登校班の班長に選ばれた。	善悪の判断はしっかりつけよう。	木の切り株に小鳥が止まる。	欲張って、何でも欲しがる妹。	日本は国際連合の加盟国だ。

たしかめ

22

109	108	107	106	105
やまの	たてと	うんどう	せかい	へいえん
いただき	よこ、	かいの	いさん	の
を	じゅう	よく	にと	じこく
「さん	おう	じつ	うろ	が
ちよう	には	は	く	きた
」とい	しる	からだ	され	た
う。	とか	が	た	ので
	いの	おも	ふじ	もん
		い。	さん。	を
				と
				じ
				る。

たしかめ

23

114	113	112	111	110
それは	かいこ	てきと	まこと	おやの
じこ	から	みか	の	いい
まん	きい	たに	ここ	いつ
ぞく	とを	わか	ろを	けを
に	とる	れて	込め	ちゅう
すぎ	よう	たた	、せい	うじ
ない。	さん	かう。	いを	つに
	ぎ		も	ま
	よう		も	も
	ぎ		つ	も
	ょう		て	も
	う。			も

たしかめ

24

119	118	117	116	115
なり	おも	みず	じん	じよ
たち	て	の	ぎ	せつ
を	と	湧	を	・
けい	う	き	おも	じよ
とう	ら	で	ん	そ
だ	が	る	じ	う
て	わ	い	た	、
て	を	ず	せん	じよ
せ	「り	み	ん	は
つ	めん	ず	ごく	
め	」とい	が	ぶ	
い。	う。		じ	
			ょう	
			将。	

たしかめ

25

124	123	122	121	120
とう	ぜん	きの	よく	に
こう	あく	きり	ば	ほん
は	の	か	つ	は
ん	は	ぶ	て	は
の	んだ	に	、	は
は	ん	こ	なん	は
ん	だ	と	でも	は
ち	ん	り	ほ	し
ょう	は	が	し	が
に	し	と	る	る
え	っ			
ら	か			
ば	り			
れ	つ			
た。	け			
	い			
	こ			
	く			
	だ			

129	128	127	126	125
宅	至	否	割	危
帰宅した時、宅配便が届いた。	至つて難しいことを「至難の技」という。	学級会で議案が否決された。	仕事の役割分担を決める。	危ないぞ。そこは危険だ、近づくな。

134	133	132	131	130
創	乳	卵	紅	糖
学校が創られた日が創立記念日。	乳を搾るために育てた乳牛。	卵の中身は卵黄と卵白。	紅色にもみじの葉っぱが紅葉する。	料理の仕上げに砂糖を加える。

139	138	137	136	135
筋	看	困	誕	奏
背筋を伸ばし、筋骨たくましい若者。	いろんな看板が並ぶ商店街。	貧困で困っている人々を助ける。	今日は私の誕生日。	音楽会で器楽合奏を発表。

144	143	142	141	140
郷	宝	巻	骨	盛
滋賀県の郷土料理の鮎寿司。	金銀の財宝を満載した宝船。	巻物は、一卷、二巻と数える。	体を支える骨組みが「骨格」。	盛大にパーティー開かれ盛り上がる。

たしかめ

26

1 2 9	1 2 8	1 2 7	1 2 6	1 2 5
きたくしたとき、たくはいびんがとどいた。	いたってむずかしいことを「しなんのわざ」という。	がつきゅうかいでぎあんがひけつされた。	しごとのやくわりぶん担 ^{たん} をきめる。	あぶないぞ。そこはきけんだ、ちかづくな。

たしかめ

27

1 3 4	1 3 3	1 3 2	1 3 1	1 3 0
がつこうがつくられたひがそうりつきねんび。	ちちを搾 ^{しぼ} るためにそだてたにゆうぎゅう。	たまごのなかみはらんおうとらんぱく。	べにいろにもみじのはっぱがこうようする。	りょうりのしあげにさとうをくわえる。

たしかめ

28

1 3 9	1 3 8	1 3 7	1 3 6	1 3 5
せすじを伸ばし、きん骨 ^{こつ} たくましいわかもの。	いろんなかんばんがならぶしょうてんがい。	ひんこんでこまっているひとびとをたすける。	きようはわたしのたんじょうび。	おんがくかいできがくがつそうをはっぴよう。

たしかめ

29

1 4 4	1 4 3	1 4 2	1 4 1	1 4 0
しがけんのきようどりょうりの鮒 ^ふ 寿し。	きんぎんのざいほうをまん載 ^{さい} したたからぶね。	まきものは、いっかん、にканとかぞえる。	からだをささえるほねぐみが「こっかく」。	せいだいにパーティーひらかれもりあがる。

149	148	147	146	145
拝	絹	聖	秘	敬
礼拝堂で、心静かに神を拝む。	絹系のような筋雲を「絹雲」という。	神社の境内は神聖な場所だ。	秘かに伝えられた神秘の伝説。	目上の人を敬い、敬語で話す。

154	153	152	151	150
郵	衆	干	亡	鋼
書留速達の郵便が届く。	民衆の力で平和を守る。	晴れた日に洗濯物を干す。	死亡事故の原因を究明する。	鋼板は、炭素を混ぜて作った鋼の板。

159	158	157	156	155
俵	穀	預	孝	賃
米俵を一俵担げたら一人前。	穀物を収納庫に収める。	「預金」は銀行にお金を預けること。	親孝行、したい時には親は無し。	仕事の賃金上がる。

163	162	161	160
詞	暖	忘	訳
歌の歌詞を紙に書いて覚える。	暖冬で暖かく雪も少ない今年の冬	忘却とは、忘れ去ることだ。	通訳をしてもらい、訳が分かった。

たしかめ

30

149	148	147	146	145
れいはいどうで、こころしずかにかみをおがむ。	きぬいのようなすじぐもを「けんうん」という。	じんじやのけいだいはしんせいなばしよだ。	ひそかにつたえられたしんぴのでんせつ。	めうえのひとをうやまい、けいごではなす。

たしかめ

31

15	153	152	151	150
かきとめそくたつのゆうびんがとどく。	みんしゅうのちからでへいわをまもる。	はれたひにせん濯 <small>たく</small> ものをほす。	しほうじこのげんいんをきゆうめいする。	こうはんは、たんそをまぜてつくったはがねのいた。

たしかめ

32

159	158	157	156	155
こめだわらをいっぴよう担 <small>かつ</small> げたらいちにんまえ。	こくもつをしゅうのうこにおさめる。	「よきん」はぎんこうにおかねをあずけること。	おやこうこう、したいときにはおやはなし。	しごとのちんぎんがあがる。

たしかめ

33

163	162	161	160
うたのかしをかみにかいておぼえる。	だんとうであたたかくゆきもすくないことしのふゆ。	ぼう却 <small>きやく</small> とは、わすれさることだ。	つうやくをしてもらい、わけがわかった。

6年生で習う漢字

1	視	31	裁	61	染	91	優	121	欲	151	亡	181	補
2	砂	32	律	62	宣	92	推	122	株	152	干	182	担
3	腹	33	脳	63	暮	93	貴	123	善	153	衆	183	姿
4	段	34	臓	64	探	94	策	124	班	154	郵	184	討
5	並	35	腸	65	座	95	縮	125	危	155	賃	185	専
6	降	36	肺	66	幼	96	棒	126	割	156	孝	186	潮
7	認	37	胃	67	著	97	熟	127	否	157	預	187	針
8	洗	38	私	68	権	98	尺	128	至	158	穀	188	穴
9	異	39	密	69	尊	99	寸	129	宅	159	俵	189	灰
10	純	40	呼	70	庁	100	揮	130	糖	160	訳	190	奮
11	射	41	吸	71	装	101	痛	131	紅	161	忘	191	済
12	背	42	存	72	届	102	批	132	卵	162	暖		
13	捨	43	刻	73	沿	103	傷	133	乳	163	詞		
14	舌	44	激	74	冊	104	若	134	創	164	朗		
15	乱	45	簡	75	宇	105	閉	135	奏	165	胸		
16	域	46	机	76	宙	106	遺	136	誕	166	片		
17	誌	47	難	77	俳	107	翌	137	困	167	劇		
18	映	48	疑	78	誤	108	縦	138	看	168	将		
19	拡	49	券	79	幕	109	頂	139	筋	169	皇		
20	展	50	障	80	晩	110	忠	140	盛	170	后		
21	蔵	51	派	81	模	111	誠	141	骨	171	陛		
22	訪	52	警	82	窓	112	敵	142	巻	172	憲		
23	我	53	署	83	延	113	蚕	143	宝	173	党		
24	承	54	銭	84	論	114	己	144	郷	174	閣		
25	蒸	55	勤	85	樹	115	除	145	敬	175	革		
26	処	56	諸	86	覧	116	仁	146	秘	176	宗		
27	就	57	供	87	値	117	泉	147	聖	177	垂		
28	臨	58	収	88	源	118	裏	148	絹	178	層		
29	従	59	納	89	退	119	系	149	拝	179	磁		
30	恩	60	枚	90	厳	120	盟	150	鋼	180	操		